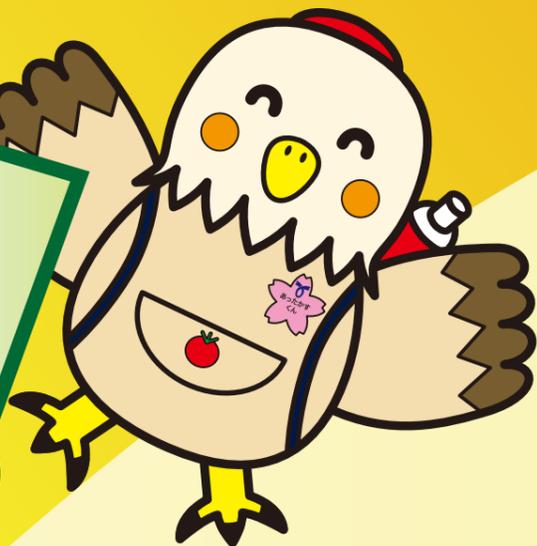


追跡!

平成 26 年中の鷹栖町議会での一般質問のその後をレポートいたします。



質問 「買い物難民」への対策は

H26.3 月定例会

鷹栖地区のスーパーが閉店し、「買い物難民」はこの先ますます増える傾向にある。

買い物難民対策の柱は、宅配サービス、移動販売車による訪問、店舗への送迎、新店舗の誘致などの方策があるが本町の取り組みは。

答弁 商工会及び団体と連携し取り組んで行く

町長

社会福祉協議会が行っている買い物支援事業は利用状況の調査・事業検証を行い、見直しや拡大について検討していきます。

また、プレミアム商品券の販売や新規開店支援対策事業を行い、消費拡大や既存店舗の活性化に向けて商工会と連携し検討して行きます。



2015 年 9 月 5 日にオープンした「Da マルシェ 北野店」(写真右)。「あったかす北野サロン」(写真左)も併設されています。

質問 どこに住んでも安心して生活できる町づくりとは

H26.3 月定例会

どこにいても安心・安全な町づくりのために、短期的にはどのような対策を実行し、中長期的にはどのような計画を作成するのか?

答弁 町民の声を受け止め計画づくりを行う

町長

鷹栖町第 7 次総合振興計画の後期計画の策定見直しを行い、その段階で町民の声を真摯に受け止め計画づくりを行います。

追跡 社会福祉協議会で安否確認を兼ねたサービスを実施中

26 年度から「買い物支援センター」を開設し安否確認を兼ねた商品の宅配サービスを開始。昨年 10 月からは、宅配利用者の方を対象に月 1 回の町内商店への送迎も開始しました。

現在の支援センター利用者数は、定期訪問者 19 人、登録者数 27 人、御用聞き 21 人となっています。



追跡 地域福祉の充実に取り組んでいる

いつまでも住み続けたい町を目指し、「お互い様づくり行動計画」を策定。社会福祉協議会においても「地域福祉実践計画」を策定、連携を図りながら地域福祉の充実に取り組んでいます。

質問 農業後継者の配偶者対策にテコ入れを

H26.6 月定例会

農業後継者の配偶者対策は例年予算計上し取り組んでいるが期待する効果が上がっていない。

この問題は農業の崩壊、地域の衰退につながる恐れがあるが、実態調査により問題点を追及しオール鷹栖として事業展開を系統的行い本質的な対策が必要では。

答弁 町民の声を受け止め検討する

町長

農業委員会では旭川市、愛別町と連携してパートナー交流事業を実施し 3 組が結婚、1 名が交際中です。また、両 JA でも趣向を凝らした事業を実施し 1 組が結婚に至っています。

今後も各関係機関が集まり農業者の意向調査を行い積極的に取り組んで行きます。

追跡 農業者からの意向をふまえながら取り組む

パートナー交流事業で交際中だった 1 名が成婚し、これまで 4 組が結婚に至っています。また、農業者の意向調査の結果をふまえ旭川市結婚相談所の紹介を行っています。

現在は有志による全業種を対象とした婚活事業の実施に向けて定期的な会議が開催されています。

質問 大雨に対する対策強化を

H26.9 月定例会

ゲリラ豪雨により北野地区で浸水被害が発生した。

排水方法、水路系統の見直しや、緊急応援体制の構築、避難勧告等洪水ハザードマップの再確認などが必要では。

答弁 連絡体制・防止に向け積極的に取り組む

町長

国や関係機関と連携しながら、管理体制の強化や各団体との災害協定の締結、避難場所の表示等積極的に対策を進める。

追跡 訓練やミニ講座を実施、具体的協議もすすめている

北野東地区での関係機関との共同訓練や、更新した防災マップを活用したミニ講座などを実施。現在、樋門などの関連工事が進行中であり、排水路系統の見直しについても国や道と具体的な協議を進めています。

質問 オオカミの桃に鷹栖町の表記を

H26.9 月定例会

26 年度産「オオカミの桃」のラベルから「鷹栖町」の表示が消えた。

町の宣伝効果の面からも大きな損失と考えるが町としての考えは。

答弁 再検討する

町長

原材料の生産地などによる消費者の産地誤認など、リスク回避のための総合判断です。

表記については再検討し、表示の工夫ができないか取締役会で議論します。



平成 28 年現在、「オオカミの桃」は裏ラベルの会社名を大きくし、色も青に変更。「鷹栖町農業振興公社」という名称が目立つよう表記されています。

追跡 裏ラベルの表記を工夫

鷹栖町農業振興公社では協議の結果、27 年度から裏ラベルの会社名が目立つよう表記するようになりました。



以前の裏ラベル→



裏面に続きます

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

【連絡先】 鷹栖町議会事務局

☎ 0166-87-2111 (内線 302・303)

gikai@town.takasu.hokkaido.jp

平成 28 年 3 月発行 【発行・編集】鷹栖町議会



平成 26 年中の鷹栖町議会での一般質問のその後をレポートいたします。

質問 農業振興と振興公社の方向性は
H26.12 月定例会
鷹栖町農業振興公社は、トマトジュースの製造販売及びきゅうりの選果事業に特化するのか。本町の農業振興対策の中心的役割を担う考えは。

答弁 時間をかけて慎重に進める
町長
設立当時から農業振興のセンター的機能を期待されていたが公社のあり方や本質的な検討が不十分でした。方向性については重要な課題ですので株主と調整の上で慎重に進めます。

追跡 農業ビジョンと連動させ方向性を定める
農業ビジョンに基づく町の農業振興対策と連動しながら方向性を定めます。
※農業ビジョンは町や農業者、関係機関などの共通の指針となるものであり、28～29 年度が第 1 期計画期間となっています。

質問 ゴミ減量化に向けての対策は
H26.12 月定例会
小型家電はいままで燃えないゴミとして処分しているが、大切な資源を含みゴミの減量化の為にも、拠点回収が出来ないか。

答弁 小型家電の拠点回収を計画している
町長
平成 27 年度から拠点回収を計画している。住民への周知・処分方法等を検討し処分施設の延命を図る。

追跡 役場と北野住民センターで拠点回収を実施
小型家電は、27 年 3 月からゴミ処理場で、また同年 5 月からは役場と北野地区住民センターで拠点回収しており、11 月時点で 4.6 トン回収されています。

写真左は北野地区住民センター内、写真右は役場内にある小型家電回収ボックス。有用金属が回収され、資源としてリサイクルされます。



トピックス 響く歌声！議場コンサートで民謡！

2015 年 12 月定例会前の議場コンサートに隆盛会・朝倉子供民謡会の皆さんが出演。町内在住のお子さんも、力強い歌声を披露してくれました。



町民のみなさんに気軽に議場に足を運んでいただけるよう、議会ではこれからも様々な試みを行っていきます。



平成 26 年 11 月に発行した追跡レポートの中から、その後特に進展があったものをレポートいたします。

質問 空き家の有効活用は
H25.3 月定例会
「空き家バンク」が施行されてから 6 年が経過している。定住促進住宅の建設には上限 150 万円の補助があるので、空き家への移住者奨励金の支給も一つの方法と考えるが。

答弁 実態調査を行い、補助金を含め運用方法を考える
町長
制度を活用して、2 件の登録物件が利用された経過がある。補助金は、定住対策、土地利用対策も含め、平成 25 年度から積極的に考える。

追跡 空き家の有効活用を進める
平成 26 年度より町内の空き家を改修して定住する方に対する補助金制度を設け、空き家の有効活用と定住促進に向けた取り組みを進めています。(空き家改修支援事業 上限 80 万円)

再追跡 バンク制度の改正を進め定住促進を目指す
空き家の有効活用に向けバンク制度の改正を進め、活用に向けた計画づくりにも着手するとともに、補助制度や様々な制度

を活用し定住促進に向けた対策を講じます。平成 28 年 2 月現在の空き家バンク登録数は 3 棟、空き家改修支援事業の実績は 10 件です。

質問 パレットヒルズのパークゴルフ場継続構想は
H25.3 月定例会
当面の間パークゴルフ場を活用しながら、水道や休憩施設を配置するとある。丸山パークゴルフ場との共存をどう考えるか。

答弁 25 年度より 3 カ年は指定管理者委託で
町長
2 つのパークゴルフ場は景観や立地条件など特徴が違うので、連携も検討していく。

追跡 27 年度中に方向性を明確にする
パークゴルフ場の利用状況や町民の皆さんの意見を参考にしながら、継続について検討していきます。



再追跡 パークゴルフ場として継続していきます
利用者が年々増加しているため、継続して実施します。パレットヒルズの全体計画については、町民の皆さんからいただいた意見等を参考にした「パ

レットヒルズ事業計画」に基づき整備等を進めていきます。27 年度は入口から管理棟予定地周辺までの給水工事、雨水配水整備などを実施。28 年度以後順次整備を進めます。

皆さまのご意見・ご感想をお待ちしています。

連絡先 鷹栖町議会事務局 ☎ 0166-87-2111 (内線 302・303) gikai@town.takasu.hokkaido.jp

平成 28 年 3 月発行 【発行・編集】鷹栖町議会